

還暦の祝賀会

今年は3名の方がめでたく60歳を迎えられ、1月23日（月）に「還暦を祝う会」が行われました。自治会利用者様からのお祝いの言葉や記念品が贈られ、みなさんとても喜ばれていました。これからも健康で、いろいろな活動に参加して、いつまでも元気で楽しくお過ごしください。



いそどり班作品展

いそどり班の作品展を12月13日（火）～19日（月）の7日間とりぎん文化会館展示室で開催しました。今展は絵画・造形・陶芸など過去最高の127点の作品が会場を彩りました。お客様から「ステキな作品がいっぱいありますね」「売って下さい」などたくさんの感想をいただきました。



あいサポート・アートとっとり展

（鳥取県障がい者芸術・文化作品展）

12月4日（日）～2月2日（木）まで鳥取県西部・中部・東部3ヶ所で開催され、第二かちみ園からもたくさんの作品を出展しました。利用者様も会場に行かれ、みんなの作品を熱心に鑑賞されていました。



あいサポート・アートとっとり展

鹿野第二かちみ園 送別会



園長	川口 保則
主事	かちみ園へ（真ん中） 吉田 雄一郎
支援員	退職（左から二番目） 村島 梨沙
介助員	退職（右から二番目） 山内 駿二
介助員	退職（右側） 山根 かえで
介助員	退職（左側） 羽合 ひかり

転任・退職



24号
鹿野第二かちみ園機関紙
2017. 5月発行



鳥取県立鹿野第二かちみ園
園長 藤崎 慎一
「新任式」

ご支援の皆さまには日頃多大なるお礼申し上げます。私儀、4月1日付けで鹿野第二かちみ園に赴任いたしました。謹んでご挨拶申し上げます。さて、3年前まで鹿野かちみ園に在籍していたこともあり、懐かしさから感慨に耽っていました。矢先の4月4日、ご利用者が病気で急にお亡くなりになりました。た。重い持病のあった方でした。ので、職員による状態観察の徹底のもと、医療機関、ご家族との連携等には努めてきたよ

うですが、あまりに突然のことです。改めまして心よりご冥福をお祈りいたします。このように悲しい出来事を目の当たりにしてつくづく感じることは、我々職員はご利用者の体調の変化に気づき、速やかに対応することや、利用者への病気の重篤化や感染症の蔓延を防止するリスクを防止するという事です。その「気づきの感性」は、日々ご利用者様を慮る気持ちで接することにも繋がるとも思っています。又、改正後の「障害者基本法」、「障害者総合支援法」等に掲げられる「意思決定支援」、あるいは「合理的配慮」は、いずれも障がいのある方が自立した日常生活を営むことができるよう規定されたものであり、この「気づきの感性」が実現への道標となるのではないのでしょうか。皆様の力を借りながら、健康で安全な生活をしてご利用者主体の生活を提供していく所存です。ので、引き続きよろしくお願ひ申し上げます。

※記載されている写真については、ご本人、ご家族の了解をいただいております。

鳥取県立鹿野第二かちみ園 基本理念

- 1・利用者の権利を擁護します
- 2・利用者主体のサービスを提供します
- 3・地域に貢献する施設を目指します